



考えていること、感じていること・・・お口を動かして一生懸命伝えてくれたね！嬉しかったよ～！

ふくらの使命 そして子供たちの使命

代表コラム

《児童福祉を始めた理由》

この事業を始めてから、どうして子供の福祉をやろうと思ったの？と聞かれることが多くなりました。なぜなのか、振り返って考えてみると、私の両親が小中学校の教員だったこともあるかもしれませんが、母親は教員退職後も市の児童相談員として児童福祉に携わっていました。また、私自身もお子さんが好きで、ピンポンパンのお姉さん（今で言うお母さんと一緒）になりたいと思っていたことや、中高生の頃から、理由はないのですが、なぜか『世の中に不幸な子供がいませんように・・・』と祈っていたものでした。学生時代、宝くじが当たったら何がしたい？と友達同士で話をしていたときにも『子供のための学校か施設が建て

たいなあ・・・』と考えた自分がいました。しかしそのときは、『別荘が欲しい』とか『世界一周旅行に行く！』と言っていた友人の前で、その気持ちを口に出せなかったことを覚えています。こういったことを思い起こしてみると、私には、子供の幸せにかかわりたいと言う願いとなんらかの役割を持っているのかも知れませんね。

《障害者の殺傷事件》

最近の障害者施設での殺傷事件は、みなさんご存知かと思います。本当に痛ましい事件でした。

障害を持って生まれてくる人たちは、自分の人生計画を自分で決めて、尊い使命を持って生まれてくると私は思っています。私たちに、『真の幸福とはなんなのか』、『目に

ふくら夢通信

第2号



平成28年8月

見えないものの中にこそある、大切なものはなんなのか』、『与えられていることに感謝する気持ちの大切さ』その他、たくさんの人生の大切なものを与え、学ばせてくださっている心の教師だと信じています。

《心は健全である事実》

身体に障害があっても『心は健全』です。『魂は健全である』と言い換えても良いと思います。私たちとまったく同じ喜怒哀楽をちゃんと感じています。それを表出できるかできていないかだけの差なのだと思います。きっと、障害のお子さんを持っている親御さんたちには、それを実感としてつかまれている方も多いことでしょう。それらをふくらの職員たちは熟知しておりますし、職員のそういった心の教育に力を入れていきたいと思っております。

《職員の人間力と子供たちの心身の成長》

ふくらの職員は『仕事をすればするほど愛が深まり、人間力が高まって、心が磨かれていく。』利用して下さる子供たちは、『ふくらに来れば来るほど、身も心も元気になって、より素晴らしくなっていける！』・・・そんな私たちでありたいと願ってふくらは存続します。今後とも、どうぞよろしくをお願いいたします。

代表取締役 須田祥子



～口を清潔に保ちます～
歯を磨いてね！
口の中は、あらゆる菌がいてとても大切な場所です。特に、飲み込みがあまり上手ではないお子さんは、むせる時、眠っている間に唾液が気管支や肺にわずかながら入ってしまいます。その時に、肺炎などの感染を引き起こすばい菌が一緒に



に侵入してしまうのです。ブラッシングをして口の中を清潔に保つと、風邪やインフルエンザの予防にもなります。一日お預かりする日は、ぜひ歯ブラシなど持たせてくだされば、スタッフがケアをいたします。

妖精？天

お話できなくても心の音がちゃんと届いてるよ



ふくらんくんのお弁当作ってお出かけたね



スタッフ紹介

小野寺明美看護師

訪問看護ステーションの管理者です。

15年の産科経験と10年の高齢福祉の経験を持ち、新生児から高齢者まで心をこめてお世話させていただきます。

ふくらの『美味しいもの担当』で、美味しいものを作らせたなら天下一品なんですよ♪



一緒にいられて幸せ～♪

みんなの笑顔が可愛くて涙が出そう！

